

四半期報告書

(第37期第3四半期)

自 平成20年10月1日

至 平成20年12月31日

曾田香料株式会社

東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号

(E01043)

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	2
3 関係会社の状況	2
4 従業員の状況	2

第2 事業の状況

1 生産、受注及び販売の状況	3
2 経営上の重要な契約等	4
3 財政状態及び経営成績の分析	5

第3 設備の状況

第4 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	6
(2) 新株予約権等の状況	6
(3) ライツプランの内容	6
(4) 発行済株式総数、資本金等の推移	6
(5) 大株主の状況	6
(6) 議決権の状況	7

2 株価の推移

3 役員の状況

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13

2 その他

第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年2月12日
【四半期会計期間】	第37期第3四半期（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）
【会社名】	曾田香料株式会社
【英訳名】	Soda Aromatic Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 中地 俊朗
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号 (同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記で行って おりません。)
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋小伝馬町2番3号(本社事務所)
【電話番号】	03(5645)7340
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理部門長 中島 直文
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 (東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第37期 第3四半期 連結累計期間	第37期 第3四半期 連結会計期間	第36期
会計期間	自平成20年4月1日 至平成20年12月31日	自平成20年10月1日 至平成20年12月31日	自平成19年4月1日 至平成20年3月31日
売上高（千円）	14,803,195	4,618,059	18,709,854
経常利益（千円）	2,022,265	518,267	2,419,779
四半期（当期）純利益（千円）	1,230,906	319,511	1,497,749
純資産額（千円）	—	11,741,614	10,642,021
総資産額（千円）	—	19,426,757	18,153,741
1株当たり純資産額（円）	—	1,174.57	1,064.49
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	123.13	31.96	149.82
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	—	59.7	58.6
営業活動による キャッシュ・フロー（千円）	675,911	—	1,994,798
投資活動による キャッシュ・フロー（千円）	△583,954	—	△514,486
財務活動による キャッシュ・フロー（千円）	△800,753	—	△919,644
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高（千円）	—	2,241,074	2,949,677
従業員数（人）	—	371	343

（注）1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は、「3 関係会社の状況」に記載のとおりであります。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間において、持分法適用関連会社であった台湾曾田香料股份有限公司は、株式の追加取得により連結子会社となりました。

名称	住所	資本金 (百万新 台湾元)	事業の内容	議決権の所 有割合 (%)	関係内容				
					役員の 兼任	資金援助 (百万円)	営業上 の取引	設備の 賃貸借	その他
台湾曾田香料 股份有限公司	中 華 民 国 台 北 市	50	各種香料の製 造及び販売	66.03	有り	—	当社製 品・商 品の販 売	—	—

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数（人）	371 (40)
---------	----------

(注) 従業員数は就業人員（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託契約、顧問契約の従業員を含み、派遣社員を除く。）は、当第3四半期連結会計期間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成20年12月31日現在

従業員数（人）	291
---------	-----

(注) 従業員数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託契約、顧問契約の従業員を含み、派遣社員を除く。）は、含まれておりません。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間における生産実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
フレグランス (千円)	498,959
フレーバー (千円)	1,260,219
合成香料・ケミカル (千円)	1,990,577
合計 (千円)	3,749,756

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 商品仕入実績

当第3四半期連結会計期間における商品仕入実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
フレグランス (千円)	76,915
フレーバー (千円)	546,987
合成香料・ケミカル (千円)	417,258
合計 (千円)	1,041,160

- (注) 1. 金額は仕入価格で表示しております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

当第3四半期連結会計期間における受注状況を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
製品		
フレグランス	405,314	51,557
フレーバー	1,101,432	144,552
合成香料・ケミカル	1,877,327	111,562
小計	3,384,074	307,672
商品		
フレグランス	88,518	8,472
フレーバー	569,424	80,059
合成香料・ケミカル	427,368	16,771
小計	1,085,312	105,303
合計	4,469,387	412,975

- (注) 金額は販売価格で表示しております。

(4) 販売実績

当第3四半期連結会計期間における販売実績を事業の部門別に示すと、次のとおりであります。

事業の部門別	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
製品	
フレグランス (千円)	403,539
フレーバー (千円)	1,152,650
合成香料・ケミカル (千円)	1,907,503
小計 (千円)	3,463,693
商品	
フレグランス (千円)	99,804
フレーバー (千円)	605,664
合成香料・ケミカル (千円)	448,307
小計 (千円)	1,153,776
その他 (千円)	589
合計 (千円)	4,618,059

(注) 1. 当第3四半期連結会計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)
D I C株式会社	735,118	15.9

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、昨年9月の米国発の金融危機に端を発した世界的な景気減速と円高の進行による影響が実体経済に波及し、企業収益や雇用情勢の悪化、個人消費の減少等急速な景気後退局面を迎えております。

香料業界におきましても、国内市場の売上は伸び悩んでおり、販売競争が激化するなかで原燃料価格も高止まる等、厳しい環境が続きました。

このような状況下、当社グループは収益改善に努め、生産・販売・研究・開発が一体となって、製品開発における顧客ニーズへの対応力を強化してまいりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間は、合成香料・ケミカル部門を中心に景気減速と円高の影響を受け、売上高は4,618百万円、営業利益は505百万円、経常利益は518百万円、四半期純利益も319百万円となりました。

(注記) 当社グループは、単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、事業の種類別セグメント情報はありません。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第2四半期連結会計期間末に比べ533百万円減少し、2,241百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、資金は162百万円の減少となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が512百万円、減価償却費が167百万円、また、たな卸資産が196百万円の増加、賞与引当金が263百万円の減少、法人税等の支払額が477百万円となったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は171百万円となりました。これは主に、製造設備等の有形固定資産の取得による支出79百万円と連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出89百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は200百万円となりました。これは主に、借入金の返済100百万円と配当金の支払額100百万円などによるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、245百万円であります。

なお、当第3四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末に計画した重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	34,400,000
計	34,400,000

②【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成20年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成21年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,000,000	10,000,000	ジャスダック証券取引所	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は1000株であります。
計	10,000,000	10,000,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (千株)	発行済株式総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成20年10月1日～ 平成20年12月31日	—	10,000	—	1,490,000	—	1,456,855

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成20年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

①【発行済株式】

平成20年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 3,000	—	単元株式数1000株
完全議決権株式（その他）	普通株式 9,993,000	9,993	同上
単元未満株式	普通株式 4,000	—	—
発行済株式総数	10,000,000	—	—
総株主の議決権	—	9,993	—

②【自己株式等】

平成20年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
曾田香料株式会社	東京都中央区日本橋本町四丁目15番9号	3,000	—	3,000	0.03
計	—	3,000	—	3,000	0.03

2【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
最高（円）	900	1,035	1,055	1,050	1,100	1,080	1,048	870	881
最低（円）	870	860	1,016	1,020	1,050	1,018	840	810	805

（注） 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,241,074	2,949,677
受取手形及び売掛金	※3 4,361,660	3,692,891
商品	108,620	47,383
製品	1,891,503	1,622,777
原材料	1,400,102	1,147,773
仕掛品	2,014,332	1,654,274
その他	491,543	450,215
貸倒引当金	△5,959	△5,560
流動資産合計	12,502,877	11,559,433
固定資産		
有形固定資産	※1 5,248,961	※1 4,865,977
無形固定資産	※4 128,756	38,756
投資その他の資産	1,546,162	1,689,573
固定資産合計	6,923,880	6,594,308
資産合計	19,426,757	18,153,741
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※3 2,913,771	2,063,632
短期借入金	700,000	1,500,000
未払法人税等	320,139	611,700
賞与引当金	228,367	453,892
役員賞与引当金	11,401	14,216
その他	1,213,436	814,602
流動負債合計	5,387,115	5,458,043
固定負債		
長期借入金	300,000	100,000
退職給付引当金	1,817,484	1,830,197
役員退職慰労引当金	147,580	122,030
その他	32,961	1,448
固定負債合計	2,298,026	2,053,676
負債合計	7,685,142	7,511,720

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,490,000	1,490,000
資本剰余金	1,456,855	1,456,855
利益剰余金	8,582,669	7,551,700
自己株式	△2,361	△1,523
株主資本合計	11,527,162	10,497,032
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	124,782	155,224
繰延ヘッジ損益	△2,168	29,975
為替換算調整勘定	△53,782	△40,210
評価・換算差額等合計	68,832	144,989
少数株主持分	145,619	—
純資産合計	11,741,614	10,642,021
負債純資産合計	19,426,757	18,153,741

(2) 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	14,803,195
売上原価	9,885,545
売上総利益	4,917,649
販売費及び一般管理費	* 2,922,713
営業利益	1,994,935
営業外収益	
受取利息	6,871
受取配当金	10,537
持分法による投資利益	15,400
その他	13,795
営業外収益合計	46,605
営業外費用	
支払利息	8,940
債権売却損	7,280
その他	3,054
営業外費用合計	19,275
経常利益	2,022,265
特別損失	
固定資産除却損	9,040
和解金	12,000
特別損失合計	21,040
税金等調整前四半期純利益	2,001,224
法人税等	770,317
四半期純利益	1,230,906

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	
売上高	4,618,059
売上原価	3,160,000
売上総利益	1,458,058
販売費及び一般管理費	※ 952,451
営業利益	505,607
営業外収益	
受取利息	1,668
受取配当金	2,776
持分法による投資利益	7,188
その他	6,330
営業外収益合計	17,964
営業外費用	
支払利息	2,704
債権売却損	2,134
その他	464
営業外費用合計	5,304
経常利益	518,267
特別損失	
固定資産除却損	5,785
特別損失合計	5,785
税金等調整前四半期純利益	512,481
法人税等	192,969
四半期純利益	319,511

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自 平成20年4月1日
 至 平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,001,224
減価償却費	487,067
固定資産除却損	7,099
持分法による投資損益(△は益)	△15,400
貸倒引当金の増減額(△は減少)	379
賞与引当金の増減額(△は減少)	△239,490
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,814
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,677
受取利息及び受取配当金	△17,408
支払利息	8,940
和解金	12,000
売上債権の増減額(△は増加)	△477,681
たな卸資産の増減額(△は増加)	△909,654
仕入債務の増減額(△は減少)	758,957
その他	95,078
小計	1,720,975
利息及び配当金の受取額	34,332
利息の支払額	△9,455
和解金の支払額	△6,000
法人税等の支払額	△1,063,939
営業活動によるキャッシュ・フロー	675,911
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△9,715
有形固定資産の取得による支出	△471,452
無形固定資産の取得による支出	△13,581
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△89,021
その他	△183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△583,954
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000
長期借入れによる収入	200,000
長期借入金の返済による支出	△600,000
自己株式の取得による支出	△837
配当金の支払額	△199,915
財務活動によるキャッシュ・フロー	△800,753
現金及び現金同等物に係る換算差額	192
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△708,602
現金及び現金同等物の期首残高	2,949,677
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,241,074

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
1. 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更</p> <p>当第3四半期連結会計期間から、株式の追加取得により台湾曾田香料股份有限公司を連結の範囲に含めております。</p> <p>なお、みなし取得日を当第3四半期連結会計期間末としたため、期間損益については持分法を適用しております。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数 3社</p>
2. 持分法の適用に関する事項の変更	<p>(1) 持分法適用関連会社の変更</p> <p>当第3四半期連結会計期間から、株式の追加取得により台湾曾田香料股份有限公司を持分法の対象より除外しております。</p> <p>(2) 変更後の持分法適用関連会社の数 1社</p>
3. 連結子会社の事業年度等に関する事項	<p>当第3四半期連結会計期間より、連結の範囲に含めている台湾曾田香料股份有限公司は決算日が12月31日であります。四半期連結財務諸表の作成にあたっては、同四半期決算日現在の四半期財務諸表を使用し、四半期連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っております。</p>
4. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>重要な資産の評価基準及び評価方法の変更</p> <p>たな卸資産</p> <p>通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。</p> <p>これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ14,574千円減少しております。</p>

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
1. 固定資産の減価償却費の 算定方法	定率法を採用している資産については、 連結会計年度に係る減価償却費の額を期間 按分して算定する方法によっております。
2. 繰延税金資産及び繰延税 金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関し ては、前連結会計年度末以降に経営環境 等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい 変化がないと認められるので、前連結会計 年度において使用した将来の業績予想やタ ックス・プランニングを利用する方法によ っております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連 結会計期間を含む連結会計年度の税引前 当期純利益に対する税効果会計適用後の 実効税率を合理的に見積り、税引前四半 期純利益に当該見積実効税率を乗じて計 算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等に 含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額は、11,438,948千円であります。</p> <p>2 偶発債務 債権流動化に伴う買戻義務額 167,309千円</p> <p>※3 四半期連結会計期間末日満期手形 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。 なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。 受取手形 61,262千円 支払手形 65,305千円</p> <p>※4 無形固定資産には、のれん81,813千円が含まれております。</p>	<p>※1 有形固定資産の減価償却累計額は、11,004,287千円であります。</p> <p>2 偶発債務 債権流動化に伴う買戻義務額 130,300千円</p>

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
<p>※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>給料及び手当 1,102,888千円 賞与引当金繰入額 141,878 役員賞与引当金繰入額 11,401 退職給付費用 160,744 役員退職慰労引当金繰入額 25,549</p>

当第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)
<p>※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <p>給料及び手当 246,399千円 賞与引当金繰入額 141,878 役員賞与引当金繰入額 3,800 退職給付費用 53,964 役員退職慰労引当金繰入額 9,037</p>

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年12月31日現在) (千円)	
現金及び預金勘定	2,241,074
現金及び現金同等物	<u>2,241,074</u>

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数
普通株式 10,000千株
2. 自己株式の種類及び株式数
普通株式 3千株
3. 新株予約権等に関する事項
該当事項はありません。
4. 配当に関する事項
(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月25日 定時株主総会	普通株式	99,972	10	平成20年3月31日	平成20年6月26日	利益剰余金
平成20年11月6日 取締役会	普通株式	99,964	10	平成20年9月30日	平成20年12月10日	利益剰余金

- (2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

当社グループは単一セグメントに属する香料等の製造・販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	340,585	542,144	156,305	31,437	1,070,473
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	4,618,059
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	7.4	11.7	3.4	0.7	23.2

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	アジア	欧州	北米	その他	計
I 海外売上高（千円）	1,438,921	1,595,773	466,192	152,497	3,653,384
II 連結売上高（千円）	—	—	—	—	14,803,195
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	9.7	10.8	3.2	1.0	24.7

(注) 1. 地域は地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の主な内訳は次のとおりであります。

- (1) アジア…中国、韓国、台湾
- (2) 欧州……スイス、英国、フランス
- (3) 北米……米国
- (4) その他…南米、オセアニア

3. 海外売上高は当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末（平成20年12月31日）

著しい変動がないため記載を省略しております。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末（平成20年12月31日）

当社グループの利用しているデリバティブ取引にはヘッジ会計が適用されているため、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日 至平成20年12月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)		前連結会計年度末 (平成20年3月31日)	
1株当たり純資産額	1,174円57銭	1株当たり純資産額	1,064円49銭

2. 1株当たり四半期純利益金額等

当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	123円13銭	1株当たり四半期純利益金額	31円96銭
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
四半期純利益(千円)	1,230,906	319,511
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	1,230,906	319,511
期中平均株式数(千株)	9,996	9,996

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

著しい変動がないため記載を省略しております。

2【その他】

平成20年11月6日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額……………99百万円

(ロ) 1株当たりの金額……………10円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日……………平成20年12月10日

(注) 平成20年9月30日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月3日

曾田香料株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 原 一浩 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山口 光信 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている曾田香料株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、曾田香料株式会社及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。